

学校だより

11月号  
岐阜市立岐阜小学校

# ふるさと大好き

令和元年10月31日

岐阜市大工町1番地  
TEL 058-265-6388

## 岐阜小学校が「社会科全国大会」で『明るい光』に！

校長 藤田忠久

本日、第57回「全国小学校社会科研究協議会研究大会」岐阜大会（午後から長良川国際会議場での全体会）が始まり、いよいよ明日（11/1）の午前中には、北海道から沖縄までの35都道府県からみえる約500人の先生方に『岐阜小学校の授業』を観ていただくことになります。

第1会場校としての役割は、「社会的事象相互の関係性ととも地理的・歴史的な視点や方法などの『社会的な見方・考え方』を発揮させることによる社会認識の深まり」「目的意識をもって主体的に問題解決に取り組む学習や互いに高め合う学び合い活動を充実させることによる『主体的・対話的で深い学び』のある授業の実現」という新学習指導要領全面实施に向けた先駆的な実践を公開することになります。岐阜小学校としては、これまで大切にしてきた『対話（語る－聴く）』を中核とした“日本一の心意気”による『子どもの育ち』や『学びの姿』を示すことが大きな目標となります。また、コミュニティ・スクールの先進校としての『社会科授業の在り方』を提案することも、重要な使命であると考えています。

今日まで本校の職員集団は、全身全霊を注いで授業づくり等の準備に取り組んできました。後期になってからもそれぞれの学級で、いろいろな方々に授業に参加していただいたり、授業を観てもらったりしながら、最後まで『授業改善』に努めてきました。先週の二日間、授業を観に来ていただいた市教委指導主事の先生からは、「岐阜小の子どもたちの純粋な学び、先生方の熱い指導、地域の方々の確かな支え、…本当に全国に自慢できる学校であると確信させていただきました。今すぐにでも観ていただきたい！というのが本音です。当日は、岐阜小の先生方が一枚岩となって、大きなチャレンジを迎えられることを、とても楽しみにしています。」というメッセージ（メール）が届きました。私自身も、今は不安より期待の方がはるかに大きくなり、明日の公開授業が『自信や誇り』につながることを確信しています。



さらに、明日の『岐阜小学校の様子』は、悲しく残念な出来事が続いた岐阜市の教育に関わる皆様や、台風19号等の自然災害に見舞われ、辛くて大変な思いや暮らしをしてみえる日本各地の皆様方にとっても『明るい光』となるのではないかと考えています。岐阜小学校から日本全国へと、勇気や元気を届ける1日となることを願っています。

保護者の皆様、先週の大掃除週間では、大変お世話になりました。明日も、ボランティア・スタッフとして、多くの方々に運営補助に回っていただきます。

本当にありがとうございます。そして、どうかよろしく願います。



学校だより

12月号  
岐阜市立岐阜小学校

# ふるさと大好き

令和元年11月29日

岐阜市大工町1番地

TEL 058-265-6388

## 岐阜小学校は『希望の光』（全国大会は通過点）

校長 藤田 忠久

11月1日（金）の「社会科全国大会」は、100点満点の出来だったと自負しています。参観者からは「子どもの姿が本当に素晴らしかった」という声が、続々と寄せられました。また、CTの効果を含めたCSとしての岐阜小学校の素晴らしさを讃える声もたくさんありました。目標に掲げた「児童や教職員はもちろん、保護者や地域の皆さんの自信や誇りにつなげる」が達成できた「全国大会」になったと胸を張りたいと思います。

しかし、その日は一つの通過点に過ぎませんでした。この「自信や誇り」は、その後の生活や学習にも、見事に生かされています。

4年生は、6日（水）に「第79回岐阜市小学校連合音楽会」に出演し、豊かな学校紹介、明るく元気な演奏、響きのある美しい歌声、と素晴らしい発表をして来てくれました。16日（土）の「防災教育こどもサミット」でも、代表児童が実に堂々と「自分たちの学び」を語ってくれました。地域に密接した“本物”の学習が、成果として表れたのだと感動しました。

さらに19日（火）には、午前中「岐阜市のプロモーションビデオ（学校教育紹介）撮影」、午後から「経済同友会の研修視察訪問」と、いずれも東京の一流企業の方々が来校されました。高学年の授業を参観され「子どもたちが生き生き伸び伸びと授業に臨んでいる」「話をしっかり聴いて自分の意見を堂々と発表している」「ICTを使いこなしながら進んで仲間と交流できている」など、多くのお褒めの言葉をいただきました。「5年先行く岐阜市の教育」の具現を示す使命が、立派に果たせたように思います。20日（水）にも、午前中の「学校運営協議会による全学級の授業参観」では、「楽しそう」「姿勢がよい」「落ち着きがある」「活発な意見」「堂々とした発言」「高度な内容」など、発達の段階に応じた「勢いのある授業」として評価をいただきました。午後の「定例教育委員会への会場提供（児童集会参観）」でも、「一人一人があれだけ堂々と自信を持って話せる2年生は観たことがない」「他学年の感想交流の挙手や発言も本当に凄い！」「岐阜小学校の子どもたちが皆さんから絶賛されました」などの嬉しい感想を伝えてくださいました。



これらのことは、多くの学校では、数年に一度あるかどうかの一大イベントとなります。しかし、岐阜小学校はこれが日常となっています。こういう機会が、今後ますます増えるのかもしれませんが、子どもたちの「自信や誇り」を一層高まる機会として、“前向きに”受け止めていきたいと思ひます。



学校だより

1月号  
岐阜市立岐阜小学校

# ふるさと大好き

令和元年12月26日

岐阜市大工町1番地  
TEL 058-265-6388

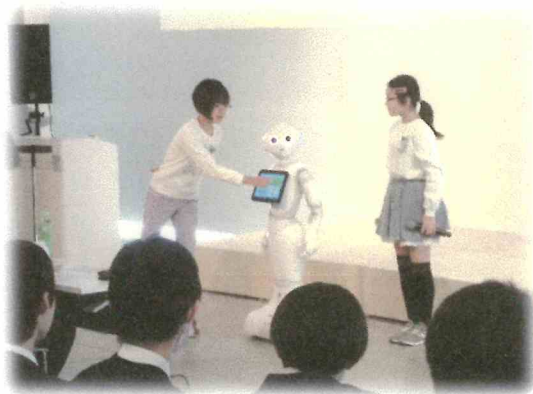
## 岐阜小HPへのアクセス数から見えてくるもの

校長 藤田 忠久

令和元年12月21日（先週の土曜日）に、岐阜小学校HP（トップページ）の右端に表示されている「アクセスカウンタ」の「総計」が1,600,000を超えました。岐阜小が開校した平成20年度（2008年度）に岐阜市立小中学校のホームページが「CMSを活用した学校HP」に統一され、それから11年9ヶ月分の総数となります。そこで、各校のHPアクセス数を調べてみると、本校が160万を超えた段階で100万回を超えていたのは、115万4千回の藍川東中学校だけでした。80万回を超えた学校も5校のみで、小中学校のアクセス数の平均が約48万、小学校の平均が約45万でした。本校HPへのアクセスが多いことは承知していたのですが、これ程までに他校を圧倒していることには本当に驚嘆しました。また、本校のHPアクセス数を1日あたりに換算してみると、380回を超えることも分かりました。今年度は「昨日」の数に500前後（今週は600前後）の数字が並ぶことが多いのですが、開校からの12年分の平均値を出しても、こんなにも多くの閲覧があることに改めて感謝の気持ちが強くなりました。

この「アクセスカウンタ」には、同じパソコンやスマホから何度アクセスしてもトップページの更新がない限り、1日1回としかカウントされません（1日に複数回更新された場合には、その都度リセットされ、改めてアクセスがカウントされるようです）。このことから、保護者以外にも岐阜小HPをご覧いただいている方が、とても大勢いらっしゃる事が分かります。その要因としては、「コミュニティ・スクールとして地域の方々からも大きな関心を寄せられていること」「数々の研修視察等を受け入れてきたことで先進的な教育実践に興味を持たれていること」「『ふるさと大好き』『母校大好き』という卒業生がいること」「HPを見て本校の教育活動に魅了された方がいること」などが考えられます。いずれにしても「ほぼ毎日のように更新されるトップページの最新情報に魅力があること」「PTA、子ども会、スポーツ少年団をはじめ、学校以外の活動や地域行事等の情報も紹介されていること」など、学校・保護者・地域が中心となって内容の濃い記事や写真を紹介していることが、多数のアクセス（大勢の閲覧）に繋がっているのだと思います。これらの「HPへのアクセス数から見えてくること」も、岐阜小学校の教育活動が充実していることの表れとして、大きな「自信や誇り」へと結んでいきたいと思えます。

最後に“速報（朗報）”です。昨日の昼、ソフトバンクから「令和2年2月9日開催のプログラミング成果発表会（全国大会）小学校部門の出場校（8校）に、岐阜小学校6年生『子育ての問題を解決するペッパー』が選考されました。」という大変嬉しいメールが届きました。この快挙にも、盛大な喝采を送りたいと思えます。



【岐阜市大会でのプレゼンの一部】



学校だより

1月号

岐阜市立岐阜小学校

# ふるさと大好き

令和元年12月26日

岐阜市大工町1番地

TEL 058-265-6388

## 岐阜小が「岐阜県ふるさと教育表彰」初代最優秀賞を受賞！

校長 藤田忠久

岐阜県では「ふるさと教育」の充実を掲げ、「ふるさと岐阜」への誇りと愛情を育む教育の充実を目指しています。そこで、ふるさとの魅力や課題を知ったり、地域課題を探究したりする学習における優れた実践を顕彰し、その普及・啓発を図るという目的で、教育委員会による「岐阜県ふるさと教育表彰」が行われてきました。昨年度までは、毎年百数十校もの応募の中から優秀賞33校と奨励賞45校が選出され「ふるさと教育実践校」にも認定されてきました。5年連続優秀賞受賞校には「郷土あふれる学校賞」も贈られるというものでした。岐阜小学校も、平成23年度に優秀賞を受賞していますが、連続受賞はできなかったようです。

今年度は、その表彰規定が見直され、①異校種との連携、②県内施設や地域人材の活用、③カリキュラム・マネジメントの3項目についての公募となり、項目ごとに第1次審査で複数の「優秀校」、第2次審査で「最優秀校」が選定されることになりました。本校は、「社会科全国大会」後に「コミュニティ・ティーチャー（CT）」と共に学び合う『ふるさと学習』による『学校支援・地域活用～参加型』から『地域創造型の学校』への進化・発展』をテーマとした実践報告書を、②と③の項目に応募し、審査結果を心待ちにしていたのですが、今月16日に市教委を通じて「岐阜小学校が最優秀校に選ばれた」という電話連絡が入りました。21日に県教委から正式文書が届き、①は東濃地区の小・中兼務校長の小規模校、②可茂地区の中学校、岐阜小学校は項目③での受賞と分かりました。初めて「最優秀」の選出がされる教育表彰で、本校の実践が評価されたことは大変喜ばしく、全国大会の成功に“榮譽”という華を添えることになりました。この表彰式は、2月6日に県教委から岐阜小にお越しいただき、朝の「児童集会」の中で、表彰状授与が行われることになりました。

以下は、実践報告のまとめの文章です。

子どもたちは「ふるさと学習」の学びを生かし、地域のために進んで活動したり、社会に向けて発信や提案をしたりすることができるようになった。特に社会科では、社会的事象を「自分のこと」として考えることができるようになり、社会の実現を目指そうとする姿につながってきたと言える。CTと活動したり、CTへの発信をしたりする中で、問い返しや切り返しを受けたときにも、既習内容や資料を根拠に、堂々と受け答えをすることができるようになってきた。それは、社会への関わり方を考える場などで、様々な立場に立って社会のことを考えられる姿につながったからだにとらえている。CTのもつ専門的な知識・技能により、子どもたちの学習が質的に深まったり補完されたりしたと考える。

また、多くのCTが、学習サポーター、ボランティア・スタッフとして、「地域の学校に貢献できた」「自分が学校教育に役立っている」とやりがいを感じ、これまで以上に学校や地域への愛情や自信を高めている。ご高齢のCTからも「子どもたちから元気ももらっている」という声が寄せられ、CTとしての経験によって笑顔が増えて幸福感をもつとともに、心身ともに一層健康な生活を過ごせると感じていることを窺い知ることができる。





学校だより

3月号  
岐阜市立岐阜小学校

# ふるさと大好き

令和2年2月28日

岐阜市大工町1番地

TEL 058-265-6388

## 岐阜小学校は ONE TEAM (チーム岐阜小の成果) !

校長 藤田 忠久

岐阜小HP等で既にご存知のこととは思いますが、令和2年2月9日(日)に東京のソフトバンク本社で行われた「Pepper 社会貢献プログラム プログラミング成果発表会2020」小学校部門において、岐阜小学校代表(6年生女子2名)が金賞(全国一位で、シリコンバレー招待の副賞)を獲得しました。この“金賞”には、岐阜中央中学校(中学校の部)とのW受賞という快挙も付いてきました。今週、そのときの審査結果が改めて送られてきました。3つの審査項目の内「設定した課題の着想・視点」等の『企画』や「プレゼン資料の仕上がり」等の『発表』も良い評価だったのですが、『プログラミング内容』の項目では「双方向性(インタラクティブ性)」「会話・動作の自然さ」「論理性・効率性」「ブロック・ボックスの使用法」の全観点で満点という最高の結果でした。審査員の先生方の講評には、「動画の組み合わせがユニーク」「実際に役立つかの意見を聞いた結果を、発表に含めてあってとても良かった」「折り紙の撮影は大変だったと思うけど、ビデオを組み合わせるのは大変良い」「トラブルにも対応できて良かった」「子育て世代の問題を考えた内容で工夫があった」「Pepperの声にこだわらなかったことも良い」「物凄く素晴らしい発表だった」などの言葉が並んでいました。

金賞の二人は“児童虐待”という社会的事象を「自分のこと」として受け止め、課題解決へと繋げました。このプログラミングは、まさに「社会科全国大会」への取組の成果だと言えます。「社会科全国大会」で育んだ「自信や誇り」は、十分にプレゼンテーションで発揮されていました。12月の「Pepperプログラミングコンテストinぎふ」(岐阜大会での5分間の発表)から、プログラミングの量・質ともに改善を図り(読み聞かせボランティアのお母さん方による録音や折り紙の動画等)、成果の検証(2,4年生の保護者を中心に見てもらった感想等)をプレゼンに加え、全校児童や学校(CS)関係者に何度も観ていただきながら表現力を高め、「8分間の発表」の内容と方法を充実させてきました。全国大会当日には、みんなからの「応援のメッセージ」に何度も目を通す二人の姿が見られました。



“日本一の栄冠”は、彼女たちの資質や努力の結晶であることは間違いないのですが、私は単なる「個人賞」にとどまらない「学校賞」をいただいたものと考えています。PTAやCSをはじめとする保護者や地域の方々も含めた「チーム岐阜小」の“榮譽”であったと喜び合いたいと思います。

国や市から出された「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」が、学校の教育活動に制限が加えられることになったと思っていたところに、突然の「全国小中高に休校要請」によって、大切な3月の学校の教育活動ができないことになってしまいました。岐阜小学校では、本日と明日の2日間で、「できる限りのことを行おう」と思いますが、やはり残念な思いや悔しい気持ち、不安や心配は尽きません。しかし、社会的事象を「自分のこと」として考えられる岐阜小だからこそ、当事者意識を持ち“ONE TEAM”で「前向きに」受け止め、「直向きに」取り組んでいきたいと思ひます。



学校だより

2019年度最終号  
岐阜市立岐阜小学校

# ふるさと大好き

令和2年3月23日

岐阜市大工町1番地  
TEL 058-265-6388

不本意な最終月でしたが、1年間ありがとうございました。

校長 藤田 忠久

延期 or 中止を危惧していた「6年生ありがとうの会」を、急遽2月28日（金）の4時間目に行いました。今年度の6年生は、平成～令和の節目の「社会科全国大会」で“日本一”を目指す大切な1年に、最高学年として全校をリードし、下学年に慕われ、憧れの姿を示してくれました。その6年生に、1～5年生は、言葉・動き・音楽等で精一杯の「感謝の気持ち」を伝えました。6年生も、6年間の「感謝」と中学校への「決意」を、言葉や歌声に乗せて堂々と返してくれました。私（校長）は、「6年生への感謝」とともに、全学年の「修了式」となることも意識し、「成長した自分に“自信”をもち、共に学んだ仲間や学級・学年・学校に“誇り”をもつこと」「仲間や先生、教室や学校への“感謝”と、進学や進級する4月からの自分をイメージした“決意”をもって、一人一人が自分の力で3月を過ごすこと」という話をしました。この会が令和元年度の全校児童が「一堂に会する」最後の機会となってしまいましたが、本当に心に残る素晴らしい会となりました。

今年度が素晴らしい1年であったからこそ、3月には最高の締め括りをしたかったのですが、その機会を失ったことには悔しさが残ります。しかし、社会的事象を「自分のこと」として捉え、多面的・多角的に考え、よりよい社会の実現を目指そうと社会科学習に取り組んできた本校だからこそ、新型コロナウイルス感染症に対しても、「当事者意識」をもって受け止めなければならぬと思います。家庭訪問や特設登校日には、元気な姿を見せてくれた子が多く、一先ず安心することができました。25日（水）の「卒業証書授与式」にも多くの制約がかかり、例年のような式典ができません。しかし、“今できる最善の場”となるよう職員一同、心を込めて祝福し、送り出したいと思います。春季休業（春休み）期間中にも、感染拡大防止に努めなければならないことと思いますが、運動不足やストレスの解消のためにも、ご家族等で岐阜小学校まで来て、広い運動場で体を動かしていただければと思います（既に親子で運動されてみえる方が何組もいらっしゃいます）。

さて、東京オリンピック・パラリンピックの持ち方など、まだまだ不透明なことが多く、令和2年度のスタートにも不安や心配が尽きませんが、岐阜小学校は「2019年より2020年」を目指し、「希望の光」として輝き続けられるよう、万全の準備をしていきたいと思っております。

最後になりましたが、2019年度（平成31年度～令和元年度）の1年間、本当にありがとうございました。新年度も、どうぞよろしく願いいたします。

